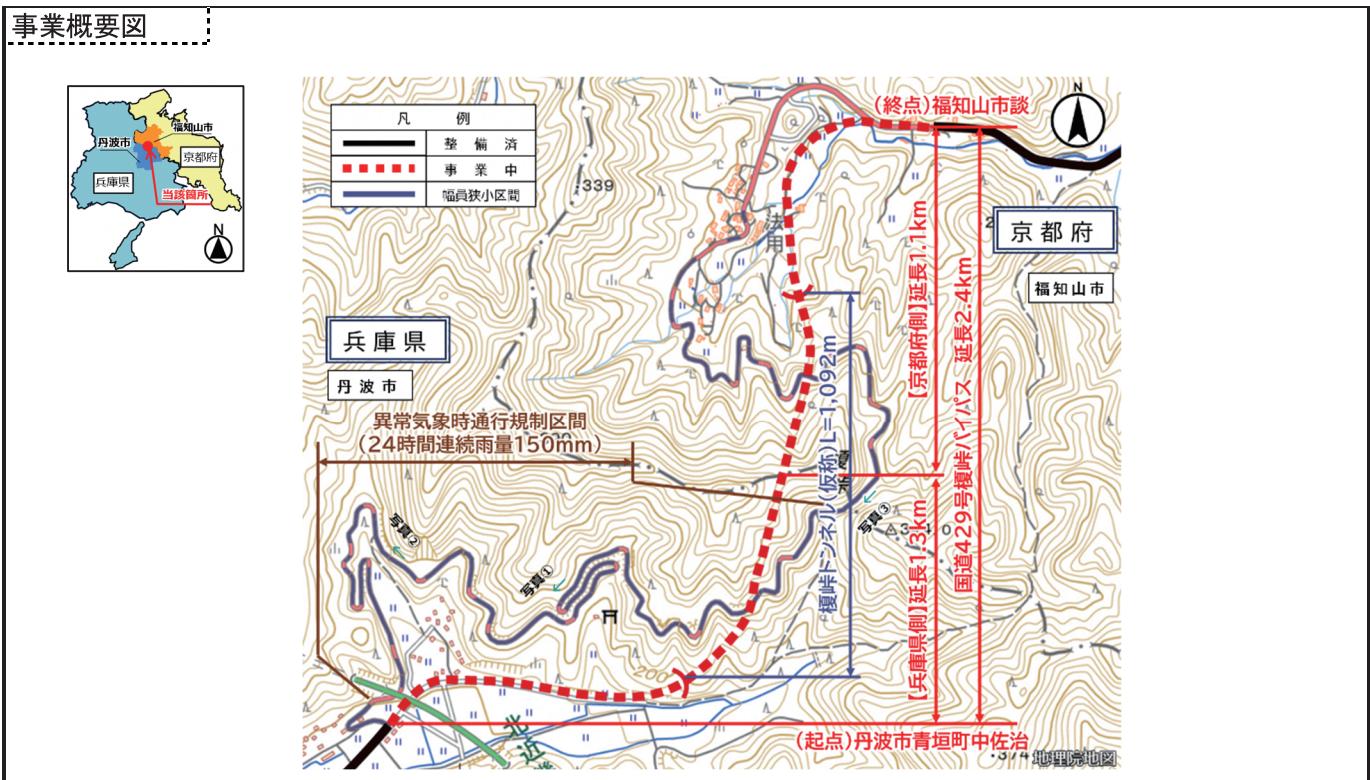


## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：高松 諭

事業名	都府県境道路 一般国道429号 榛峠バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	京都府 兵庫県			
起終点	自：兵庫県丹波市青垣町中佐治 至：京都府福知山市談	延長	2.4km					
事業概要								
一般国道429号は、兵庫県丹波市と京都府福知山市を結ぶ丹波地域の東西交流・連携道路として地域の生活・産業を支える道路である。								
当該事業は、幅員狭小かつ線形不良である現道に対してバイパス道路を整備することで、府県間連絡道路の信頼性を高め、安心・安全で円滑な通行環境を確保し、地域間の交流・連携を促進するものである。		R2年度事業化	都市計画決定 -	R3年度用地着手	R4年度工事着手			
全体事業費	約70億円	事業進捗率	約7%	供用済延長	- km			
計画交通量	5,000台／日							
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 56.6/63.2億円 事業費：53.4/60.0億円 維持管理費：3.2/3.2億円 更新費：0.0/0.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 81.7/81.7億円 走行時間短縮便益：50.5/50.5億円 走行経費減少便益：29.8/29.8億円 交通事故減少便益：1.4/1.4億円	基準年	令和5年			
感度分析の結果								
(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%)			(残事業) 交通量：B/C=1.3～1.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.3～1.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.5 (事業期間±20%)					
事業の効果等								
○災害等に対する安全・安心の確保 ・大雨等による通行規制時、災害発生時及び冬期積雪時において、安全で円滑な通行を確保								
○日常生活における安全・安心の確保 ・幅員縮小、急カーブ区間の解消により、安全で快適な道路交通を確保								
○地域産業の振興や交流人口の拡大を支援 ・福知山市、丹波市間のみならず、朝来市を加えた3市連携の強化や交流促進に寄与								
関係する地方公共団体等の意見								
・丹波市長、福知山市長により構成する「国道429号（福知山丹波間）改修促進同盟会」、丹波・福知山両市議会議員、地元自治会により構成する「国道429号（福知山青垣間）改修促進合同協議会」が、毎年早期整備の要望書提出や、決起大会を開催しており、地元の期待が大きい。								
事業評価監視委員会の意見								
事業継続妥当（京都府公共事業評価に係る第三者委員会：令和5年11月8日、兵庫県公共事業等審査会：令和5年11月27日）								
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等								
周辺環境等に特に変化はない。								
事業の進捗状況、残事業の内容等								
用地取得率約82%、事業進捗率約7%								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等								
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指しトンル本体工事を推進していく。								
施設の構造や工法の変更等								
発生土を現場で流用し、処分費低減によりコスト縮減を図る。								
対応方針	事業継続							
対応方針決定の理由	事業の必要性・有効性等は事業採択時と変わっておらず、早期完成を望む地元の声が強いことから、継続して事業を実施する必要があるため。							

## 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。